

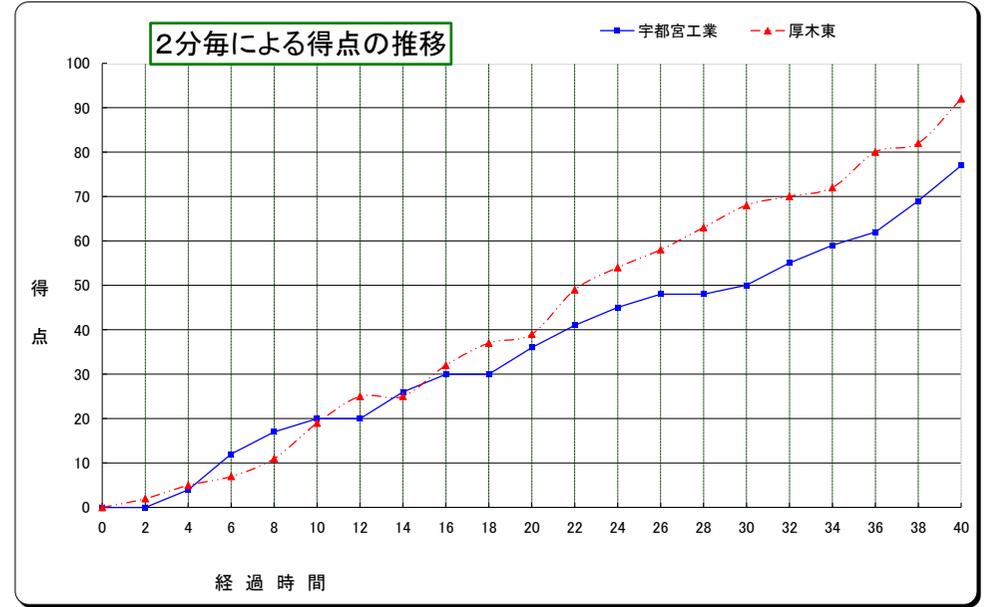
平成28年度第70回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

平成28年6月5日(日)
深谷ビッグタートル
Bブロック準決勝

チームA			チームB
県立宇都宮工業 (栃木)	77	{ 20 1st 19 16 2nd 20 14 3rd 29 27 4th 24 }	92 県立厚木東 (神奈川)

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	渡辺 翔太	22	4	16	3	9	4	4	1	1	3	4	1	1	4
5	深田 匠満	23	0	0	7	13	9	13	1	2	7	3	2	0	5
6	安納 駿	9	0	0	3	13	3	8	4	2	5	1	2	0	3
7	藤井 時生	13	1	3	4	6	2	2	3	0	1	1	0	0	4
8	三河 寛太	0													
9	田代 航	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	0	0	0	1
10	打田 大騎	0													
11	小野恭士朗	0													
12	三原 広大	0													
13	伊藤 学	0													
14	宇梶 温哉	0													
15	春山 歩夢	0													
16	山口 湧史	0													
17	小島 優生	0													
18	相馬 俊介	10	0	1	5	9	0	1	3	2	7	0	1	0	3
コーチ	千 村 隆									5	3				1
		77	5	20	22	50	18	30	12	14	28	9	6	1	21
		確率	25.0%		44.0%		60.0%			計 42					

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	奥山喜理人	7	1	6	2	5	0	0	1	1	1	1	4	0	1
5	石原遼太郎	0													
6	末澤 椋太	23	5	12	4	7	0	0	0	0	3	2	2	1	1
7	久保 村光	0													
8	杉森 大河	22	0	1	10	13	2	3	1	9	12	1	4	0	4
9	山田 大成	0	0	4	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0
10	五十嵐 豪	0													
11	望月 健太	2	0	0	1	2	0	1	2	2	0	0	0	0	2
12	東野 恒紀	9	1	4	3	5	0	0	4	0	3	1	4	1	0
13	佐野龍之介	9	1	1	3	7	0	0	4	1	4	3	2	0	1
14	菊池 允	7	1	1	2	4	0	0	4	0	0	0	0	1	0
15	矢川 拳梧	0													
16	小宮 優大	4	0	1	2	6	0	1	2	2	4	0	0	0	1
17	天宮 直之	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	吉田 烈	9	1	1	3	3	0	0	1	2	1	0	1	0	2
コーチ	永田 雅 嗣 郎									2	3				1
		92	10	31	30	52	2	5	22	19	31	9	17	3	13
		確率	32.3%		57.7%		40.0%			計 50					



戦評

第1P両チーム共にマンツーマンディフェンスでスタートする。出だし厚木東が#16ドライブ、#13の3Pで得点を取ると宇都宮工業も#4、#5のドライブで応戦する。宇都宮工業は得点が入るとプレッシャーのあるゾーンプレスをしかけリズムを作り始めるが厚木東もツープラトンディフェンスで粘りを見せる。両チーム一対一の力があり気を抜くことができない攻防となるが宇都宮工業が1点差リードで終了する。

第2P出だし厚木東の#16、#11ドライブから得点し逆転に成功する。宇都宮工業も#6のジャンプシュートで応戦するが厚木東#14の3Pで再度逆転する。残り3分宇都宮工業がタイムアウトをとるが厚木東#12の3Pが決まり7点差となる。その後も一進一退の攻防が続く厚木東が3点リードで前半が終了する。

第3P宇都宮工業は3-2ゾーンでスタートする。厚木東はオールコートマンツーマンプレッシャーをかけ#6の3Pが連続で決まり点差を広げる。宇都宮工業もパスカット、ルーズボールから得点し粘りを見せる。残り4分厚木東の#8のフリースローで10点差となり宇都宮工業はタイムアウトをとるが厚木東のディフェンスプレッシャーでリズムがとれず逆に点差が広がってしまい厚木東がリードのまま最終ピリオドをむかえる。

第4P宇都宮工業はゾーンプレスで前からプレッシャーをかけパスカットから得点をする。厚木東もハーフでプレッシャーをかけたゾーンディフェンスをし宇都宮工業にリズムをつくらせない。残り6分厚木東がタイムアウトをとるとオールコートマンツーマンディフェンスを戻しオフェンスのリズムを取り戻すと#8のゴール下シュートなどで点差を広げる。宇都宮工業もプレッシャーをかけ粘りを見せ残り40秒、#7の3Pが決まり7点差まで追いつけるが最後まで粘りあるディフェンスを続けた厚木東の勝利となる。

記録者: 根本靖雄